

令和6年度第3回札幌方面南警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和6年12月25日（水）午後1時30分から午後2時30分までの間

2 開催場所

札幌方面南警察署 2階道場

3 出席者

(1) 協議会委員 7人（定員9人）

会長 石川康夫

委員 新保昭子、西村純一郎、芦田由美子、廣澤健、伊藤和江、棚橋昭恵

(2) 警察署員 6人

・署長	野中 稔蔵
・副署長	坂本 智喜
・刑事・生活安全官	仁木 俊徳
・地域官	土生 賢二
・交通官	齊藤 勝
・警務課長	水上 正志

4 協議会進行

- (1) 会長挨拶
- (2) 署長挨拶
- (3) 議事進行

5 議題

(1) 南警察署業務説明

ア 犯罪等の発生状況について（令和6年11月末現在、地域官による説明）

(ア) 刑法犯の認知件数等について

(イ) 特殊詐欺・SNS型詐欺の発生状況等について

イ 交通事故等の発生状況について（令和6年11月末現在、交通官による説明）

(ア) 交通事故の発生状況について

(イ) 冬の交通事故の実態について

(2) 諮問事項（災害警備対策について、地域官による説明）

ア 災害について

イ 災害の危険箇所について

ウ 過去に南警察署管内にて発生した災害について

エ 体験事例

6 質疑応答

委員～ 発生した犯罪の中に「器物損壊」というものがありますが、具体的に何を壊されたのでしょうか。

回答～ 車のボディやタイヤなどを傷つける事案が多くみられます。

委員～ 電車事業所前にある複雑な交差点を改善する計画があるようですが、冬期間は積雪で車線が見えなくなり、特に観光客の車や普段車を運転しない人にとっては分かりづらいと思いますので、何か対策はありますか。

回答～ 道路工事等に着手するまでに時間を要するため、道路管理者に働きかけた結果、当面の措置として付近の支柱に案内看板を設置し、行き先と車線を明示して対応しております。

委員～ 災害対策の説明の中で地域官自身が被災した話がありましたが、土砂崩れが起きた原因は何だったのでしょうか。大雨が降ったのでしょうか。

回答～ 崩れた場所は盛り土をした土地で、寒気と暖気の繰り返りで地中にあった水道管が破裂したことがきっかけで土砂崩れになったと聞いております。

大雨が土砂崩れの原因になるとは限らないことを理解しておく必要があります。

委員～ 川沿18条1丁目にある信号の待ち時間が長いように感じます。

また、先日杖をついて横断歩道を渡っている女性がいたのですが、渡りきる前に横断歩道の信号が代わってしまい、渡っている途中の女性の横を車両が走行していてとても危険に感じました。

そういう方々が安全に渡れるような対策を望みます。

回答～ 現地を調査して状況を確認します。

委員～ 北九州市での殺人事件やススキノでガソリンを撒いた放火事件がありました。これらの事件は発生する前に警察に相談があったり、地域住民から情報提供があったようですが、こういった場合警察はどのように対応しているのですか。

回答～ 警察には日々様々な情報が寄せられ、必要な部署で情報共有しております。

特に早急に人身の安全を確保しなければならない家庭内暴力や児童虐待等の事案については組織対応しており、必要に応じて、関係者を逮捕しています。

逮捕に至らなくても相手には確実に警告して一時的に分離措置を講じ、子供の場合は児童相談所に連絡して、児童相談所に一時保護してもらうなど、それぞれ段階を踏んで対応を取っております。

ところが通り魔的犯行は犯人と被害者と接点がなく、事前に情報を得ることが困難な場合が多いです。

その時に大事になってくるのが防犯カメラ等の映像資料です。

ですので何か事件等あった際には、地域住民の方々には各ご家庭や店舗に付けているカメラ、ドライブレコーダー等を積極的に情報提供していただきたいと思っております。

質問～ テレビでのお話ですが、警察の人が警察手帳を見ただけで勝手に家の中に入ってきたと報道されていたんですが、そんなことはあるのでしょうか。

回答～ 警察官は搜索令状や逮捕状を持っている場合や自宅内でまさに事件が起きている場合などは法律に基づいて立入ることが可能です。

その他にその家の人がどうぞと言って下さった場合も上がらせて貰うことが可能ですが、搜索令状や逮捕状等がなく拒否された場合は強制的に立ち入ることができません。

8 次回の諮問事項

マイナンバーカード免許証の導入等に関する事項を予定

委員署名欄